

『太平經鈔』乙部卷之二（葉一表一行目、葉一表一〇行目）

二〇一五年五月一六日（土）於…京都大学

担当…桐原孝見

【原文】

合陰陽¹順道法。

還年²不老、大道將還人年、皆將候驗³。瞑目⁴還自視⁵、正白⁶彬彬⁷。若且向旦時。身爲安著席、若居温蒸⁸中。於此時筋骨不欲見動⁹、口不欲言語。每屈伸¹⁰者益快意、心中忻忻¹¹、有混潤之意、鼻中通風¹²、口中生甘、是其候也。

【書き下し】

陰陽を合して道に順^{したが}う法。

年を還して老いず、大道將^{まさ}に人年に還らんとし、皆^{みな}將^{まさ}に候驗あらんとす。目を瞑り還^ま自視するに、正白^{ひんびん}彬彬^{ひんびん}なり。若し且^もつ旦時に向かうなり。身安を爲^なして席に著^つくに、温蒸^{つね}中に居るが若し。此の時に於いて筋骨見動するを欲さず、口言語するを欲さざるなり。毎に屈伸する者は益意^{ますます}を快^{こころよ}くし、心中忻忻^{きんきん}とし、混潤の意有^ありて、鼻中風を通じ、口中甘を生ず、是れ其の候なり。

【譯】

陰陽を調和させて道にしたがう方法。

若返りして年をとらず、大道の働きで人の年が若返るときは、全て応驗がある。目を閉じて内視するとき、心中正白として均整調和をとる。もしくは、さながら日の出の時に向かうようにする。身体を落ち着けて席に座るときは、温度の高い所に居るようにせよ。そのさいには、全身を動かそうとせず、口から言葉を発そうとしてはならない。つねに屈伸をする者は次第に気持ちよくなり、心の中が楽しくなって、身体全体が潤ったような感覚がおこり、鼻の中に風が通り、口の中に甘味が広がる、これが若返りの徴候である。

【注】

*1合陰陽

『史記』卷四七、孔子世家第一七

孔子曰、「竇鳴犢・舜華、晉國之賢大夫也。趙簡子未得志之時、須此兩人而后從政、及其已得志、殺之乃從政。丘聞之也、刳胎殺夭則麒麟不至郊、竭澤涸漁則蛟龍不合陰陽、覆巢毀卵則鳳皇不翔。何則君子諱傷其類也。…」

【宋・裴駟集解】有角曰蛟龍。龍能興雲致雨、調和陰陽之氣。

*2還年

『抱朴子內篇』卷一三（涵 869・太清部・守上）、極言

或問曰、「世有服食藥物、行氣導引、不免死者、何也。」抱朴子答曰、「不得金丹、但服草木之藥及修小術者、可以延年遲死耳。不得仙也。或但知服草藥、而不知還年、誤作「房中」之要術、則終無久生之理也。…」（6表・6裏）

『神仙傳』沈建（『雲笈七籤』卷一〇九（涵 699・太玄部・甘下））

沈建者、丹陽人也。世為長吏、而建獨好道、不肯仕宦、學導引服食之術、還年却老之法。

（4表）

*3大道

『太上老君說常清靜經註』（涵 533・洞神部 玉訣類・是下）

老君曰、「大道無形、生育天地。」

【唐・杜光庭注】道者、開口動舌、發言之詞也。又云、道者虛無之炁也。混沌之宗、乾坤之祖、能有能無、包羅天地。道本無形、莫之能名。無形之形、是謂眞形。無象之象、是謂眞象。先天地而不為長、後天地而不為老。無形而自彰、無象而自立、無為而自化。故曰大道。

（1裏・2表）

*4候驗

『雲笈七籤』卷八（涵 678・太玄部・學下）、三洞經教部、經釋、釋三十九章經、第二十四章

「九曲下戸」者、是男女之陰地也。男曰「九曲」、女曰「下戸」。此陰地常生白雲之氣、以薰黃庭之間、是得道之候驗也。（9裏）

なお、『雲笈七籤』の基_くと_{ころ}は、次のもの。

『上清大洞真經』卷四（涵 17・洞真部 本文類・荒下）、太皇上眞玉華三元君道經第二四、白素右元君章

太微玉清帝君祝曰、…九曲下戸、鎮生白雲。（20表）

*瞑目

『上清三元玉檢三元布經』（涵 179・洞玄部 本文類・乃中）、三元内存招眞降靈上法
夫欲行飛仙之道、佩三元玉檢之文、當以夜半時、於密室之中、北向瞑目、叩齒三通。

（36裏）

*自視

『莊子』內篇、逍遙遊
故夫知效一官、行比一鄉、德合一君、而徵一國者、其自視也亦若此矣。

*正白

『無上祕要』卷七八（涵 776・太平部・兒上）、太清藥品
又云、第四芝、名夜光洞草芝。其色青、其實正白、大如李子、高三四尺、其葉似栢、夜視其實、如月光、洞照一室。（3表・3裏）

*彬彬

『後漢書』馮衍傳第一八下付馮豹傳

（馮豹）長好儒學、以『詩』・『春秋』教麗山下。鄉里為之語曰、「道德彬彬馮仲文。」舉孝廉、拜尚書郎、忠勤不懈。

【唐・李賢注】論語曰、「文質彬彬、然後君子。」鄭玄注、「彬彬、雜半貌也。」

李賢の注に引かれる『論語』は、雍也篇の

子曰、「質勝文則野、文勝質則史。文質彬彬、然後君子。」

という言葉。

*温蒸

『列子』仲尼

外游者、求備於物。内觀者、取足於身。取足於身、游之至也。求備於物、游之不至也。

【晉・張湛注】人雖七尺之形、而天地之理備矣。故首圓足方、取象二儀。鼻隆口窵、比象山谷。肌肉連於土壤、血脉屬於川瀆、温蒸、同乎炎火、氣息不異風雲。内觀諸色、靡有一物不備。豈須仰觀俯察、履凌朝野、然後備所見。…

*10見動

『詩經』國風、王風、兔爰

有兔爰爰、雉離于羅。我生之初、尚無為。我生之後、逢此百罹。尚寐無吽。

【毛傳】罹、憂。吽、動也。

【鄭玄箋】我長大之後、乃遇此軍役之多憂。今但庶幾於寐、不欲見動、無所樂生之甚。

*11屈伸

『抱朴子內篇』卷四（涵 868・太清部・疲下）、金丹

（『太清觀天經』）又曰、長生之道、不在祭祀事鬼神也。不在道引與屈伸也。昇仙之要、在神丹也。（10表）

『抱朴子內篇』卷六（涵 868・太清部・疲下）、微旨

抱朴子曰、「…凡養生者、欲令多聞而體要、博見而善擇、偏修一事、不足必賴也。又患好生之徒、各仗其所長。…知屈伸之法者、則曰唯導引可以難老矣。…」（4表）

*12忻忻：「欣欣」に同じか。

『楚辭』九歌、東皇太一

五音紛兮繁會、君欣欣兮樂康。

【漢・王逸注】五音、宮・商・角・徵・羽也。紛、盛貌。繁、衆也。欣欣、喜貌。康、安也。

*13通風

『西昇經集註』卷三（涵 449・洞神部 玉訣類・維上）、聖辭章第一

鼻爲通風氣、鼻口風氣門。

【唐・李榮注】氣從鼻口、爲風氣之門。

【唐・劉仁會注】通風氣者、鼻口也。

（5裏・6表）

【原文】

故順天地^{*10}者、其治長久^{*10}。順四時^{*10}者、其王日興^{*10}。道無奇辭^{*10}、一陰一陽^{*10}、爲其用也。得其治者昌、失其治者亂^{*10}。得其治者神且明^{*10}、失其治者道不可行。詳思^{*10}此意、與道合同^{*10}。

【書き下し】

故に天地に順^{したが}う者は、其の治 長久なり。四時に順^{したが}う者は、其れ王たりて日びに興^まぐなり。道に奇辭無^なきは、一陰一陽、其の用を爲^なせばなり。其の治を得る者は昌、其の治を失する者は亂なり。其の治を得る者は神且^かつ明、其の治を失する者は道行^{おこな}う可からざるなり。詳^{つまび}らかに此の意を思えば、道と合同す。

【譯】

だからこそ天地にしたがう者は、「『老子』でも述べるように」世を治めることが長い。四季のめぐりにしたがう者は、天子として日ごとに盛んになる。道によこしまな言葉がないのは、あるいは陰となり、あるいは陽となって、作用しつづけるからである。世を治めることが出来る者は榮え、世を治めることをあやまる者は乱れる。世を治めることが出来る者は「万物が変化して形成されるように」神明であり、世を治めることをあやまる者は道が機能できない。この意味によく思いをいたせば、道と一つの境地に達する。

【注】

*1 順天地

『史記』卷一、五帝本紀第一 黃帝

舉風后・力牧・常先・大鴻以治民。順[、]天[、]地[、]之[、]紀[、]、【唐・張守節 正義】言黃帝順[、]天[、]地[、]陰陽四時之紀也。幽明之占、死生之說、存亡之難。

漢・嚴遵 撰『道德眞經指歸』卷一一（涵 377・洞神部 玉訣類・能下）

古之所以貴此道者、夫何故哉。言、順[、]天[、]地[、]而[、]不[、]已[、]行[、]、合人心而不恃、名成而不顯、功遂而不有。（4表）

*2長久

『老子』第七章

天長地久。天地所以能長且久者，以其不自生。故能長生。

*3順四時

『漢書』卷四〇、張陳王周傳第一〇 王陵伝

上曰、「苟各有主者、而君所主何事也。」(陳)平謝曰、「……宰相者、上佐天子理陰陽、順四時、下遂萬物之宜、外填撫四夷・諸侯、內親附百姓、使卿大夫各得任其職也。」

*4日興

『晉書』卷三九、列傳第九 王沈伝

(王)沈探尋善政、案賈逵以來法制禁令、諸所施行、擇善者而從之。又教曰、「後生不聞先王之教、而望政道日興、不可得也。文武並用、長久之道也。……」

*5奇辭

『荀子』正名

故王者之制名、名定而實辨、道行而志通、則慎率民而一焉。故析辭擅作名、以亂正名、使民疑惑、人多辨訟、則謂之大姦、其罪猶為符節度量之罪也。故其民、莫敢託為奇辭、以亂正名。

*6一陰一陽

『周易』繫辭上

一陰一陽之謂道。繼之者善也、成之者性也。仁者見之謂之仁、知者見之謂之知。

【晉・韓康伯注】在陰為无陰、陰以之生。在陽為无陽、陽以之成。故曰「一陰一陽」也。

*7其治者亂

『周易』繫辭下

懼以終始、其要无咎。此之謂易之道也。

【晉・韓康伯注】夫文不當而吉凶生、則保其存者亡、不忘亡者存、有其治者亂、不忘危者安、懼以終始、歸於无咎、安危之所由、爻象之本體也。

*8神且明

『周易』繫辭下

子曰、乾坤其易之門邪。乾、陽物也。坤、陰物也。陰陽合德、而剛柔有體、以體天地之撰、以通神明之德。其稱名也雜而不越。於稽其類、其衰世之意邪。

【唐·孔穎達疏】「以通神明之德」者、萬物變化、或生或成、是神明之德。易則象其變化之理、是其易能通達神明之德也。

*9 詳思

『漢書』卷七〇、傅常鄭甘陳段傳第四〇 段會宗傳

(段) 會宗為人好大節、矜功名、與谷永相友善。谷永閱其老復遠出、予書戒曰、「… 萬里之外以身為本。願詳思、愚言。」

*10 與道合同

『黃帝內經素問』卷一九、六微旨大論

帝曰、「善。有不生不化乎。」

岐伯曰、「悉乎哉問也。與道合同、惟真人也。」

【唐·王冰注】真人之身、隱見莫測、出入天地內外、順道至真以生。其為小也入於無間、其為大也過虛空界。不與道如一、其孰能爾乎。

『無上秘要』卷一〇〇(涵 779·太平部·孔下)、昇無形品

大聖衆至真之德、得道之後、昇入無形、與道合同。

右出『洞元黃籙簡文經』。

(2 表、2 裏)